

# “「問い」を発する子ども”の育成に向けて

平成23年7月 秋田県教育庁義務教育課

## 1 本県の児童生徒の現状

- 各種調査において、学力、体力ともに、本県の平均値は全国の平均値を上回っている。
- 不登校、校内暴力等問題行動の出現率が、全国平均と比べて低い。
- 学力面、運動面ともに、上位層の資質能力が十分に伸ばされていない面がある。
- 学年が進むにつれて、自分の考えを述べることについて消極的になりがちである。

### ある新聞記事から

- ・小学校の社会科見学を取材。質問の時間になると、決まって下を向き、沈黙する子どもたち。その場は気まぐずい雰囲気にも包まれる。
- ・大人たちは、質問がなくて残念そうだった。
- ・先生を質問攻めにしたエジソンのような好奇心で、自分の可能性を広げてほしい……。

### 本県の将来を支える児童生徒を育むために、“「問い」を発する子ども”の育成が必要

- ・“「問い」を発する子ども”のフレーズは、授業をはじめ、日常の様々な場面で子どもたちが「問う」ことを通して自ら学んでいくことをねらうもの。
- ・「問い」を立てるには、強い興味・関心と、ある程度の情報・知識が必要。「問う」姿勢をもつことは、「学ぶ姿勢」をもつこと。「学問」は、まさに「問いながら学ぶ」ということ。
- ・授業のなかで仕掛けをどのようにしてつくるか。一対一、グループ、一クラス規模等、サイズを変えながら、一人でも多く「問いを発し」「問いに答える」機会を与えたい。質問する内容を宿題とすることも考えられる。
- ・グローバル時代に生きる子どもたちには、「質問力」を含め、積極的に発言する力の育成が不可欠。教職員の地道な実践と児童生徒の前向きな姿勢が、「生きる力」を支える重要な要素である「表現力」を養う一助となることを願う。

県教育委員会からのメッセージ

## 2 「問い」を発する子ども とは

### 公の場で自分の考えを積極的に発言することができる子ども

【どのようにして育てますか……？】

①授業で →

②学級で →

③行事で →

### 3 「問い」を発する子ども”を育てるために【例】

#### 授業で

- 授業のねらいの具体化と、適切な言語活動の位置付け
- 交流を通して、児童生徒が学習課題を練り上げていく活動の設定
- 子どもが問い、子どもが答える授業展開の工夫
- 各自の課題解決の過程の共有化
- 見通しを立てたり振り返ったりする活動の重視



#### 学級で

- 自主的な活動をとおした互いを尊重する人間関係づくり
- 自己存在感を得る場や自己決定の場の設定の工夫
- 学級活動における、必要性のある議題選定の指導



#### 行事で

- 生き方についての課題意識をもたせる体験活動の工夫
- 人々との幅広い交流を取り入れた社会体験の充実
- 目的意識を高める事前指導と、事後指導における表現活動の工夫

### 4 「問い」を発するようになれば、子どもたちは……

#### 授業で

- ◎日常生活や社会生活に目を向けて自ら課題を設定したり、学習の過程で新たな課題を設定したりして探究活動を充実させることができるようになる。
- ◎新しいものの見方や考え方をつくり出し、進んで他者に伝えることができるようになる。
- ◎目的をもって必要な情報を収集し活用することができるようになる。

#### 学級で

- ◎学級の中の諸課題に気付き、自らの発意や発想により解決策を話し合うようになる。
- ◎体験的な活動を通して得た成果と課題を明らかにし、新たな課題を設定することができるようになる。
- ◎高め合い、磨き合いながら、共感的な人間関係を深めることができるようになる。

#### 行事で

- ◎自ら課題意識をもって活動に取り組み、積極的に意見交換したり、公の場で堂々と発言したりすることができるようになる。
- ◎公共の精神が養われ、協力してよりよい学校生活を築こうとするようになる。
- ◎勤労の尊さや創造する喜びを体得し、主体的に社会に関わろうとするようになる。

開かれた心の育成  
生きぬくたくましさの育成  
自ら学ぶ意欲と態度の育成  
児童生徒の個性と能力の伸長

将来、本県を支える年代となったとき、よりよい自分、よりよい社会をつくるために、課題を捉え、自他の営みを積極的に工夫・改善し、発信していくことができる大人に

## 5 各教科等で目指したい“「問い」を発する子ども”の姿

### 国語

読み取ったことや、それに基づいて考えたことを、目的や条件に応じて話したり書いたりして積極的に伝え合う児童生徒

#### 身に付けさせたい力

- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の基礎・基本
- ・積極的に言語活動に取り組む態度

### 社会

習得した基礎的・基本的な知識・技能等を根拠に、社会的事象の特色や働きなどを説明、論述、議論できる児童生徒

#### 身に付けさせたい力

- ・説得力をもって表現したり疑問点について更に調べたりして問題解決する力
- ・主体的に社会参画する態度

### 算数・数学

自分の考えを、目的に応じて言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて表現できる児童生徒

#### 身に付けさせたい力

- ・数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解
- ・事象を数理的に考察し表現する力
- ・算数・数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度

### 理科

問題解決の過程を通して、考えたことを科学的な言葉や概念を使用して話したり書いたりする児童生徒

#### 身に付けさせたい力

- ・自然の事物・現象から問題を見いだしたり、既習事項等と結び付けて自然の事物・現象を説明したりする力

### 生活

対象と繰り返し関わることによって生まれる気付きを基に、伝え合い交流する楽しさを実感しながら協同的に学び合う児童

#### 身に付けさせたい力

- ・共感しながら相手とかかわる力
- ・相手意識や目的意識などをもって、自分なりに素直に表現する力

### 音楽

感じ取ったことを基に、思いや意図をもって創意工夫して音楽で表現したり、根拠をもって批評するなどしてよさや美しさを味わって聴いたりする児童生徒

#### 身に付けさせたい力

- ・要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取る力
- ・表現や鑑賞に主体的に取り組む態度

### 図画工作・美術

形や色などを基に、イメージを豊かにし、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組む児童生徒

#### 身に付けさせたい力

- ・私の「美しい」をつくりだす力
- ・なぜ美しいのかを考える力

### 体育・保健体育

学んだことを基に、運動したり、発言したり、書き出したりする児童生徒

#### 身に付けさせたい力

- ・体を動かす活動を通して、互いに認め合ったり教え合ったりするコミュニケーション能力
- ・健康・安全に関する課題や解決方法を見付けたり選んだりする力

### 家庭、技術・家庭

生活の自立を目指し、知識及び技術を自分なりの工夫をして活用しようとする生徒

#### 身に付けさせたい力

- ・目的に照らして作品や調理品等の評価したり、データや図表等に基づいて考えを説明したり表現したりする力。

### 外国語活動・外国語

人と関わることに興味をもち、相手の意向を理解し、自分の考えや気持ち、事実等を積極的に伝えようとする児童生徒

#### 身に付けさせたい力

- ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度
- ・コミュニケーションのツールとしての英語を使った発信力

### 道徳

道徳的価値について、共感的な追求を基に、自己の生き方に対する気付きや問いを深める発言や記述をすることができる児童生徒

#### 身に付けさせたい力

- ・道徳的価値を自己との関わりで捉え、人間としての生き方への自覚を深めようとする態度

### 特別活動

学校や学級に内在する諸問題や課題に気付き、よりよい解決を目指す児童生徒

#### 身に付けさせたい力

- ・具体的な問題について話し合い、実践を通して共同で解決を図る態度
- ・発達の段階に即して集団決定や自己決定する力

### 総合的な学習の時間

他者と協同的に取り組む探究的な学習活動を通して、自己のよさを発揮し多様な視点で意見交換を行う児童生徒

#### 身に付けさせたい力

- ・課題解決のための情報収集力
- ・情報を整理・分析して思考する力
- ・相手意識・目的意識を明確にして表現する力

